

廃校を音楽の学び舎に～音楽と福祉のまちづくり～(宮城県加美町)

取組概要

地域資源「音楽」×民間の力＝遊休公共施設の利活用＋人の流れ＋産業の創出

- ・遊休公共施設をリノベーションし、地域資源である「音楽」をキーワードに民間の力を活用しながら新たな人の流れ（移住）と産業の創出（定住）を生み出すとともに、住民福祉の向上を図る。

取組の効果

- ・音楽技能修得施設の利用料収入年間**324万円**
- ・国立音楽院宮城キャンパスの**講師・生徒21人が移住**
- ・リペア工房やスポーツリトミックなど**音楽の仕事**を創出
- ・若返りリトミックなど**音楽と福祉の体験講座**に**1957人が参加**

創意・工夫した点

地域住民の思いを真摯に受け止め、「地域と育む施設」として新たな機能や役割を持たせた遊休公共施設の利活用事業に、地域資源である「音楽」と「人口対策」を取り入れた。

他団体へのアドバイス

新たな人の流れを生み出すためには、地域資源を見直して、魅力的なコンテンツを作り上げ、伝えるターゲットを明確にする。

人口 23,853人(H30.1.1現在)

担当 企画財政課



好きな音楽を仕事に（ヴァイオリン制作）



地域交流にも積極的に参加